

《湘南ひらつかを訪ねて》

初冬ながら、小春日和の気持ちの良い日差しの中、平塚駅から平塚八幡宮、平塚博物館などを講師 横田巖さんのご案内で、楽しく巡ってきました。

＜実施日 令和元年12月3日（火） 参加者 22名＞



《平塚駅構内の、広重の東海道五十三次の額絵の前で》

講師と朝の挨拶を交わし、平塚についての概略の解説を聴きました。



《平塚八幡宮の大鳥居》

社伝によると創建は仁徳天皇。現在の祭神は応神天皇、神功皇后、武内宿禰命とのこと。



《境内の中に絵馬の展示が》

この神社が、全国の神社から集めた絵馬が、展示されていました。
参加の皆さん興味深く見えています。



《神社の神殿にて》

せっかくの機会です。心も清らかに、参拝をしました。



《ひらつか八幡山の洋館》

この建物は、1905年に日本海軍が平塚に火薬工場を建設した際に、敷地内にイギリス人技術者の宿舎・食堂・ホールが建てられたが、火災で焼失した後、1912年に再建されたものです。その後、海軍の将校クラブの集会所として使用され、1945年の平塚空襲にも残ったもので、戦後米軍に接收されたのち、横浜ゴムに払い下げられた由。現在は国の有形文化財に登録されています。また、旧横浜ゴム平塚製造所記念館として公開されています。館員の方から解説を聴きました。



《記念館の戸外にバラ庭園が》

今の季節では珍しく、赤やピンクのバラの花が綺麗に咲いていました。
皆さん思わぬ情景に感動の面持ち・・・。



《平塚市博物館》

相模川流域の自然と文化をテーマにした地域博物館です。1階は「相模平野と人間」、2階は「地域をさぐる」をテーマにした常設展示室、3階は「星のひろば」でプラネタリウムもあります。

今回は、館員の解説員の方が私たちを2班に分かれて、1時間にわたって案内をしてくださいました。



《ジオラマを見る》

富士山から相模湾にかけてのジオラマに、押しボタンで地域の表示が出る大きな立体盤面。天空から見下ろすとこんな情景なのかと、また日ごろ良く知っている地域のロケーションが良く分かりました。

今回はこれで終わり、次回は令和2年2月4日（火）で、小田原城跡に行きます。皆様のご参加をお待ちしております。

（ お わ り ）